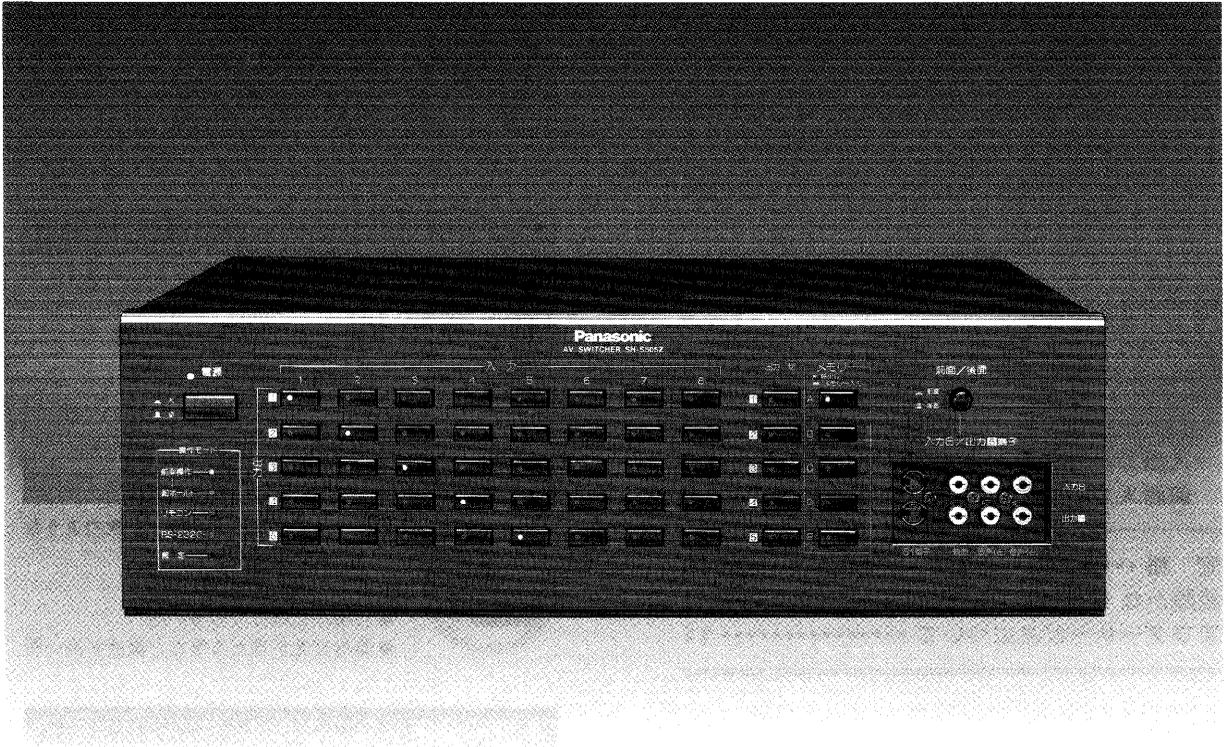


Panasonic®

AVスイッチャー

品番 SH-S505Z

取扱説明書



上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびはAVスイッチャーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

RQT3133-T

本機の特長

本機は8系統の映像・音声入力と5系統の映像・音声出力との組み合わせ(マトリックス)を自由にコントロールできるAVスイッチャーです。組み合わせは5組までメモリーでき、簡単なボタン操作で切り換えられます。またコンピューターコントロール用のRS-232C端子や、ワイヤードリモコン用端子、AV機器のスポット接続に便利な前面パネル入出力端子などを装備していますので、用途に応じて多様な使いかたが可能です。

もくじ

必ずお守りください	2
各部のなまえとはたらき	3
接続のしかた	4
まず最初に(操作モードの設定)	6
本体前面で操作する	7
入出力の組み合わせを設定するには	7
出力切りを設定するには	7
設定状態をメモリー(記憶)するには	8
入出力状態をホールド(固定)するには	8
前面入力8、出力 5 端子を使うには	9
定 格	10
故障かな! ?	11
アフターサービスについて	11

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

必ずお守りください

電源は、AC(交流)100Vで



電源コードは正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると危険です。

- プラグを持つ
- ぬれた手でさわらない
- 重いものを載せない
- 無理に曲げない

加工・改造・異物の挿入はしない



感電や故障の原因になります。特にお子様にはご注意ください。

水・薬品はかからないように



引火・火災や感電の恐れがあります。また、本機の上に可燃性ガスの入ったヘアスプレーなどを置かないでください。

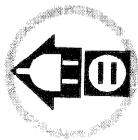
設置は安定した、風通しのよい所に



故障の原因になりますので、次のような所は、避けてください。

- 湿気の多い所
- 倉庫などほこりの多い所
- 直射日光が当たる所など温度が高い所

長期間使用しないときは



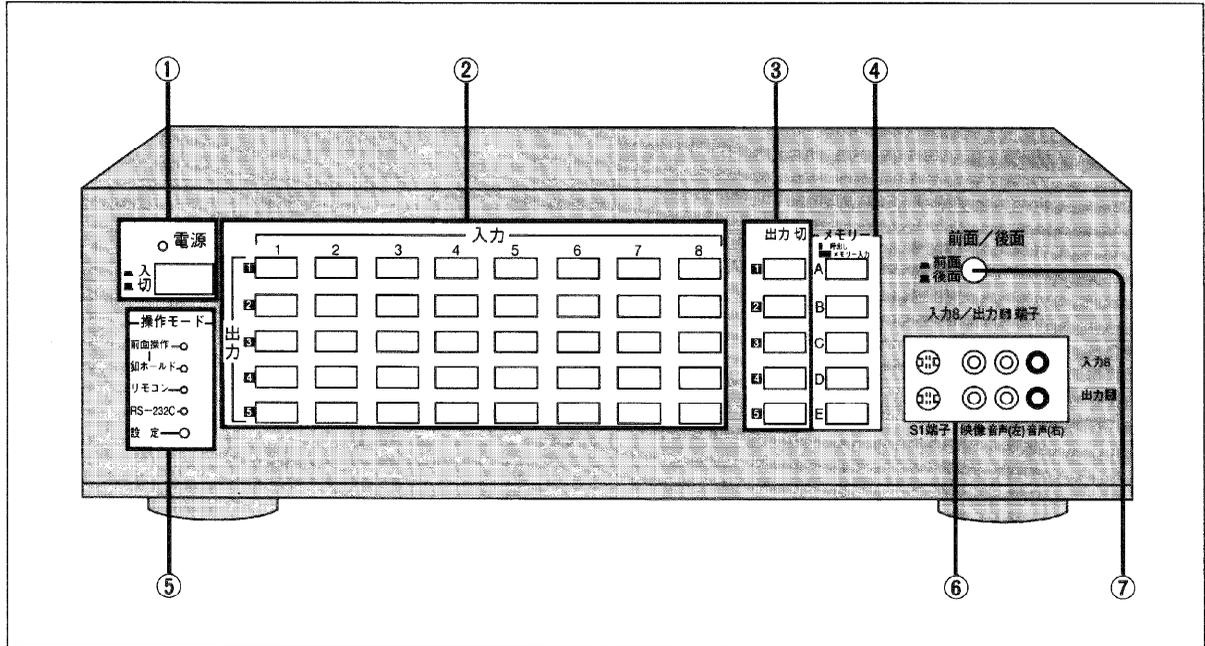
思わぬ事故を避けるため、電源コードをコンセントから抜いておいてください。

万一、故障が起きたら



電源コードを抜き、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

各部のなまえとはたらき



① 電源ボタン／インジケータ（電源）

（☞ 6ページ）

② 入出力設定ボタン／インジケータ
（入力1～8、出力 1～5）

入力8系統と出力5系統の組み合わせを設定します。
（☞ 7ページ）

③ 出力切ボタン／インジケータ
（出力切 1～5）

出力系統 1～5 の出力を個別に切ることができます。（☞ 7ページ）

④ メモリーボタン／インジケータ
（メモリーA～E）

設定したマトリックスを5組までメモリー（記憶）できます。
（☞ 8ページ）

⑤ 操作モード切替スイッチ／インジケータ
（操作モード）

操作モード（前面操作、釦ホールド、リモコン、RS-232C）を選択します。
（☞ 6、8ページ）

⑥ 前面入出力端子（入力8／出力 5 端子）

入力8と出力 5 の前面端子です。ビデオムービーなどの一時的な接続に便利です。
（☞ 5ページ）

⑦ 入出力前面／後面切替ボタン（前面／後面）

入力8と出力 5 の端子は前面および後面にあります。このボタンで使用する方へ切り換えます。
（☞ 9ページ）

接続のしかた

- 接続時には、本機および各機器の電源を切ってください。
- 接続コードはすべて別売りです。

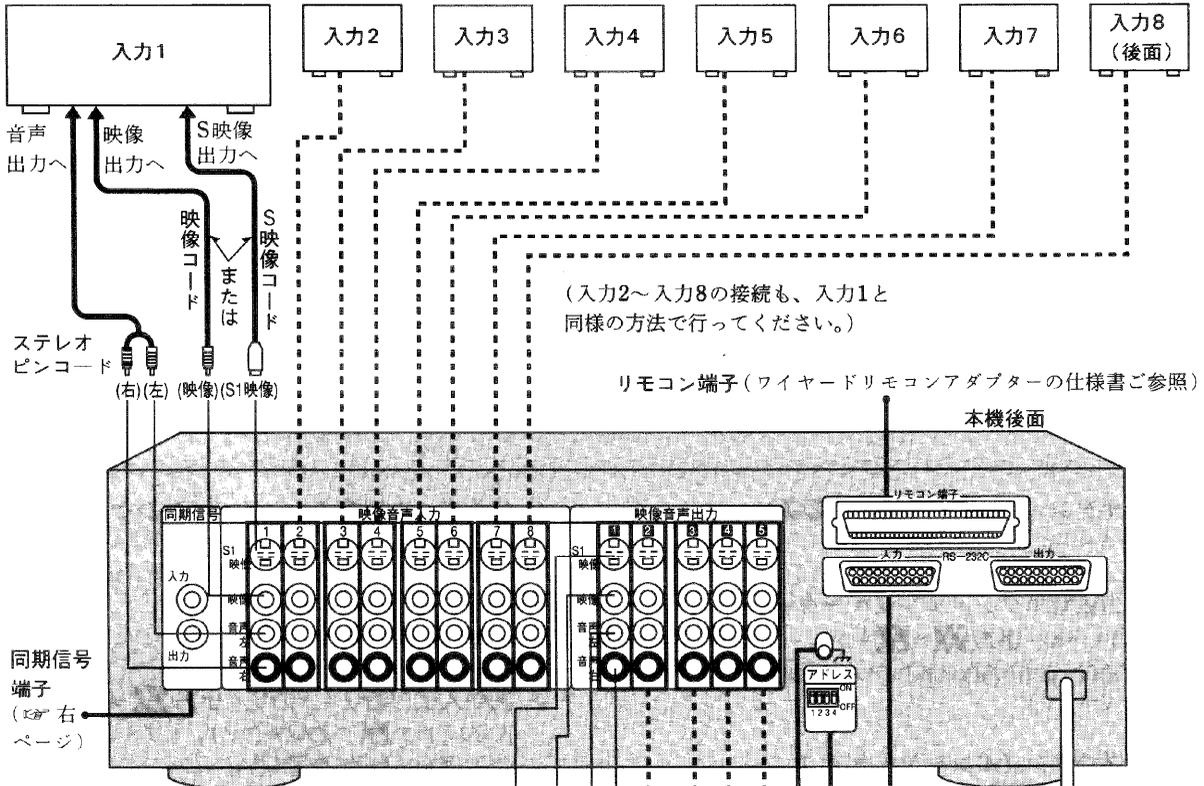
ステレオピンコード(別売り)の接続は

白色は左(L)端子へ
赤色は右(R)端子へ

入力用/出力用AV機器の接続(後面)

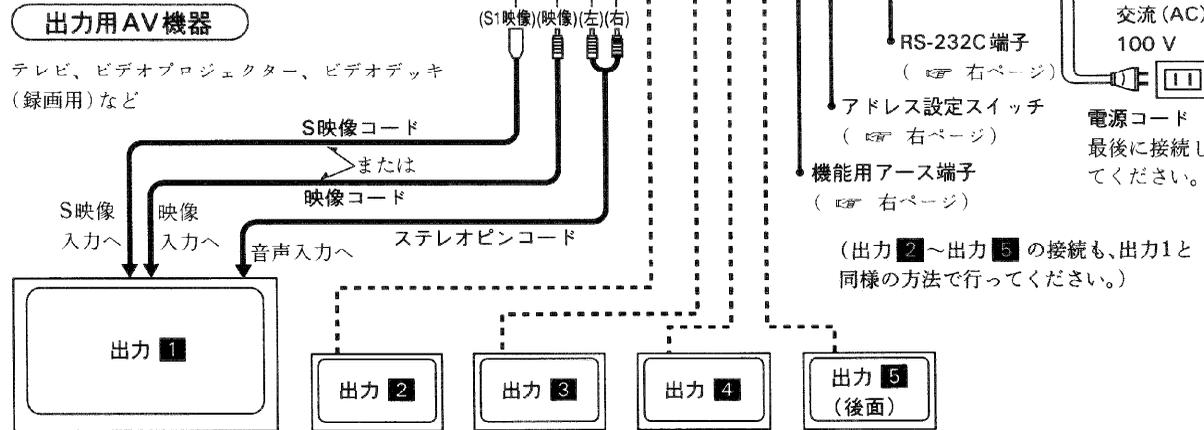
入力用AV機器

ビデオCDプレーヤー、ビデオデッキ(再生用)、レーザーディスクプレーヤー、BSチューナー、ビデオムービー、テレビなど



出力用AV機器

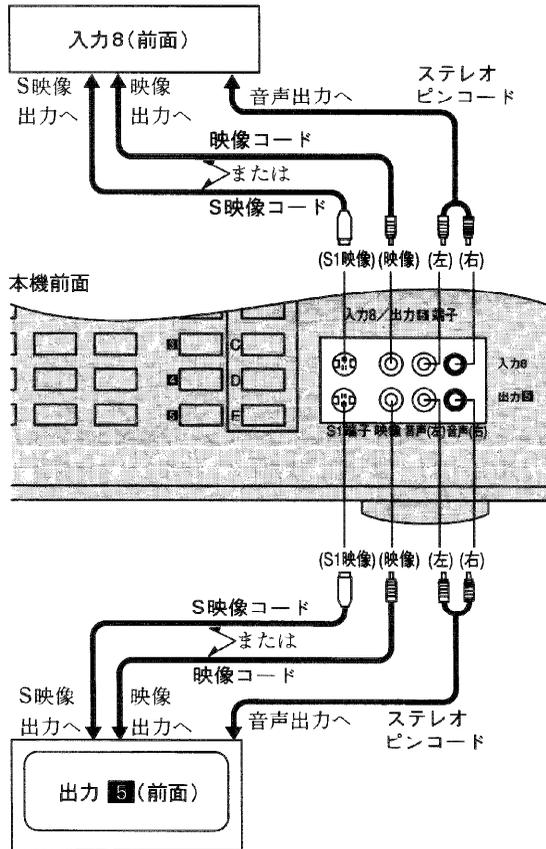
テレビ、ビデオプロジェクター、ビデオデッキ(録画用)など



ご参考：
本機のS映像端子は、アスペクト比識別信号に対応したS1映像規格になっています。

入力用/出力用機器の接続 (前面)

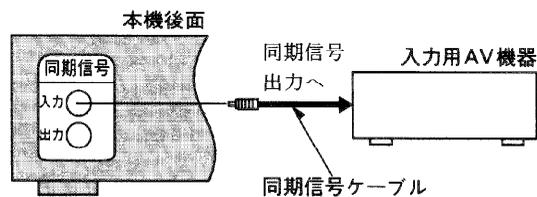
本機の前面にも入力8、出力5の端子があり、後面の入力8、出力5と切り換えて使用します。(P.9ページ)
(端子のキャップをはずして接続してください。)



同期信号端子について

入力端子と出力端子が各1個ずつあります。
同期信号端子付きのAV機器と組み合わせた場合、同期信号ケーブルを接続することにより映像の切り換え時の乱れを軽減することができます。
ご注意：
この接続を行った場合、映像の切り換わるタイミングは若干ずれます。

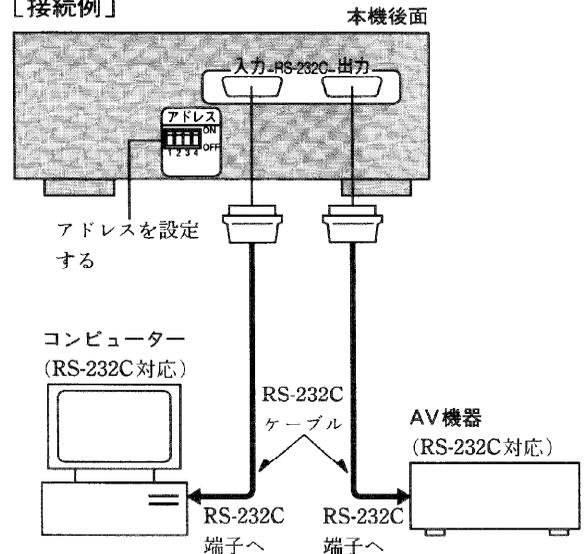
[接続例]



RS-232C端子/アドレス設定スイッチについて

本機を含めたシステムをコンピュータでコントロールする場合に使用します。

[接続例]

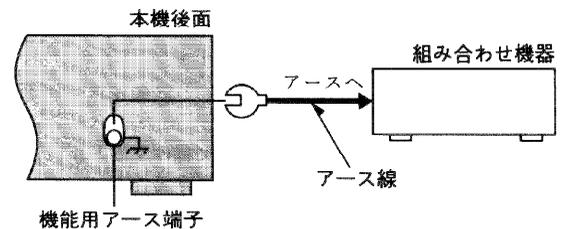


アドレス設定のしかたなどRS-232Cのくわしい仕様についてはシリアルインターフェース仕様書をご覧ください。

機能用アース端子について

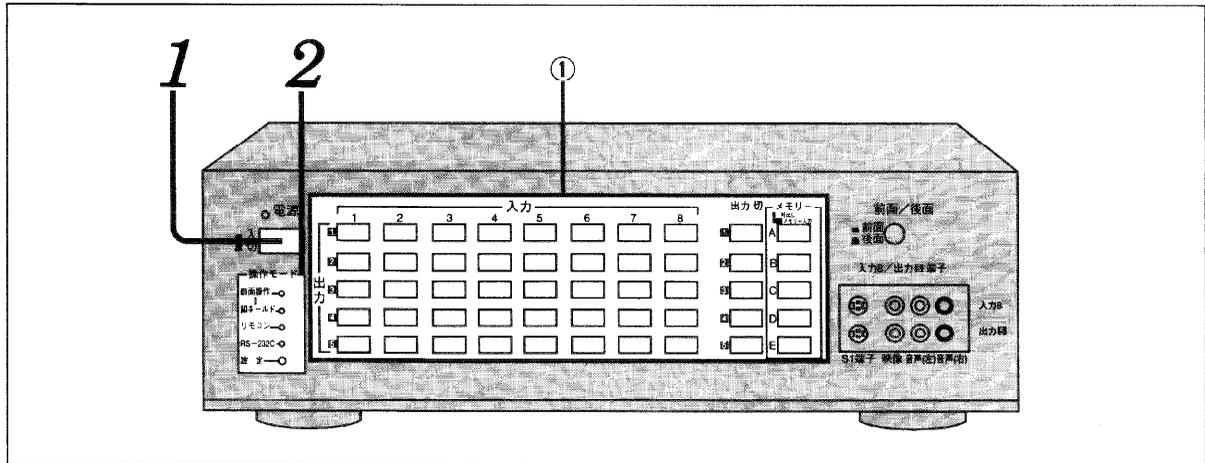
アース線を接続する場合に使用します。
この接続を行わないと、映像・音声ノイズが発生することがあります。

[接続例]



まず最初に (操作モードの設定)

本機の操作は、本体前面の他ワイヤードリモコンやコンピューターでも行えます。
まず操作モードを設定してください。



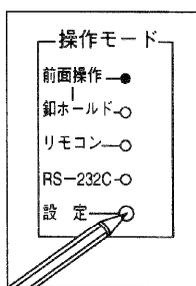
1 電源ボタンを“入”にする (電源インジケーターが点灯)

- ワイヤードリモコンやコンピューターで操作できるのは上図①のボタン部です。電源の入/切などは本体前面で行ってください。

2 操作モードを選ぶ

次ページからの操作を行うには、“前面操作”モードを選んでください。

- ①のボタン部は選択されている操作モードでだけ操作できます。(たとえば“リモコン”モードのときはワイヤードリモコンでだけ操作でき、本体前面のボタンを押しても動作しません。)



(ボールペンのようなもので) 設定孔の中のスイッチを押す押すたびにインジケーターが次のように切り換わります。

前面操作 → 釦ホールド
↑ ↓
RS-232C ← リモコン

操作を始める前に

使用する入出力機器の準備(電源入れなど)や、外部操作の場合はワイヤードリモコンまたはコンピューターなどの準備を行ってください。

前面操作：本体前面で操作するとき

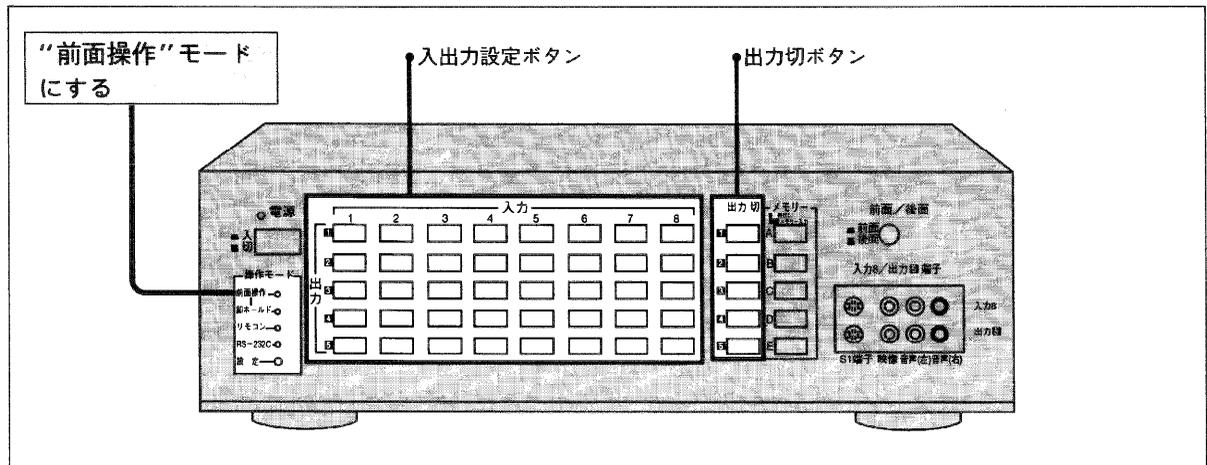
釦ホールド：本体前面で設定した状態をホールド(固定)するとき

リモコン：ワイヤードリモコンで操作するとき

RS-232C：コンピューターで操作するとき

本体前面で操作する

入力と出力の組み合わせの設定を本体前面で行います。
(イラスト内の“■”は押すボタンを示しています。)



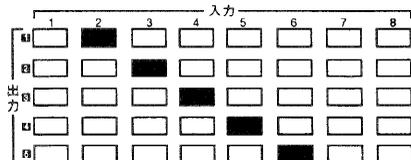
入出力の組み合わせを設定するには

入力1~8のうち最大5つまでを、出力**1**~**5**と組み合わせます。1つの入力を2つ以上の出力と組み合わせることもできます。

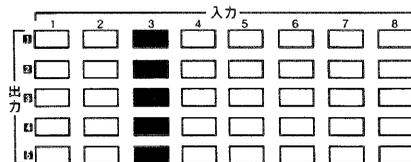
入出力設定ボタンを押す

(ボタンのインジケーターが点灯)

例1：入力2と出力**1**、入力3と出力**2**、入力4と出力**3**、入力5と出力**4**、入力6と出力**5**を組み合わせる場合



例2：入力3と出力(**1**~**5**)のすべてを組み合わせる場合



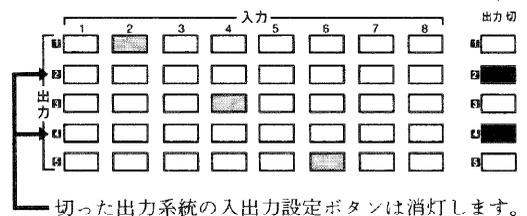
出力切りを設定するには

出力**1**~**5**は、それぞれ個別に出力を切ることができます。

出力切ボタンを押す

(ボタンのインジケーターが点灯)

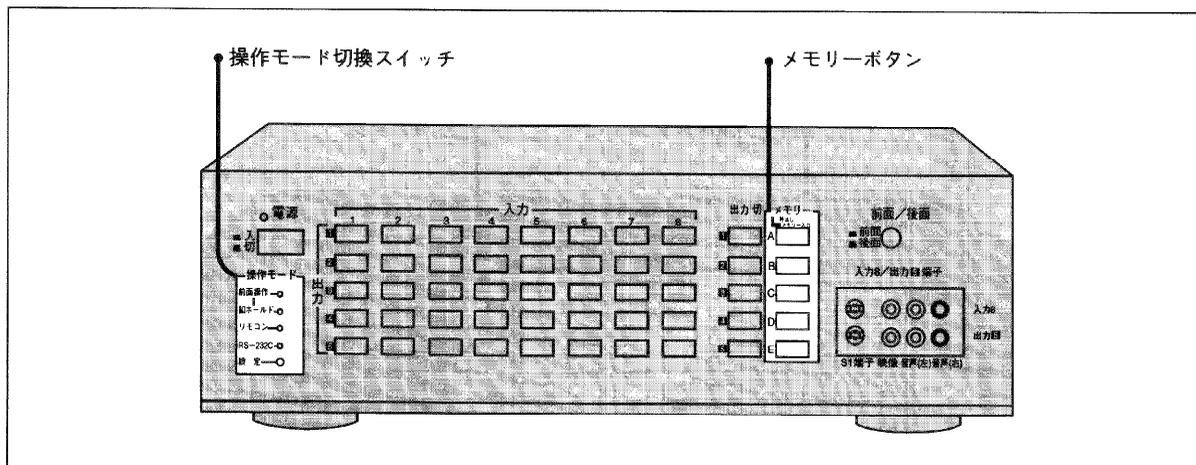
例3：出力**2**、**4**を切る場合



ご注意：

複数の入力を同じ出力と組み合わせること(ミキシング)はできません。

本体前面で操作する

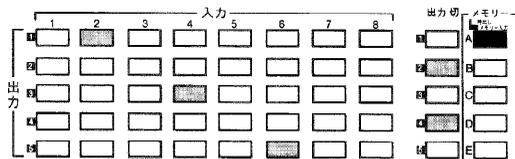


設定状態をメモリー(記憶)するには

入出力の組み合わせや出力切りの状態を5通り(メモリーA~E)までメモリーすることができます。

- ① 入出力や出力切りを設定する(☞ 7ページ)
- ② 好みのメモリーボタンを約2秒(インジケータの点滅が点灯に変わるまで)押し続ける

例4: 7ページの“例3”の状態をAボタンにメモリーする場合



B~Eボタンにも同様の方法でメモリーできます。

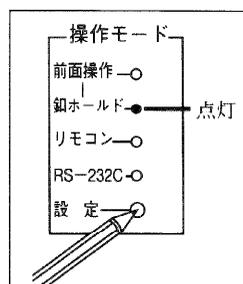
メモリーを呼び出すには

呼び出したいメモリーボタン(A~E)をポンと押してください。(設定したボタンのインジケータが点灯します。)

入出力状態をホールド(固定)するには

誤ってボタンに触れても入出力が変わってしまわないよう、設定状態(入出力、出力切り、メモリー)をホールドすることができます。

操作モード切換スイッチ



(ボールペンのようなもので)
設定孔の中のスイッチ
を押し、“鉛ホールド”
のインジケータを点
灯させる

ホールドを解除するには

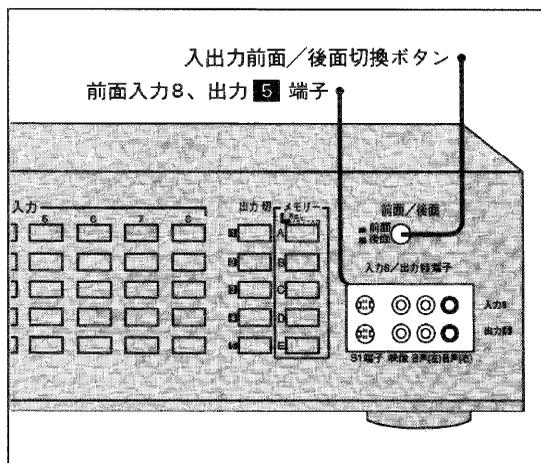
操作モード切換スイッチを押して“前面操作”モードに戻してください。

ご参考:

- メモリーを呼び出した後、点灯していない入出力や出力切のボタンを押すと、メモリーボタンのインジケータが消灯しますがメモリーは保持されています。
- 一度メモリーしたボタンに再度メモリーすると、前のメモリーは取り消されます。

ご参考:

電源ボタンと入出力前面/後面切換ボタンはホールドできません。



前面入力8、出力5端子を使うには

- ① 前面に入力/出力機器を接続する
(5 ページ)
- ② 入出力前面/後面切換ボタンを押し“■ 前面”にする
後面の入力8、出力5端子は無効になります。

後面に切り換えるには

入出力前面/後面切換ボタンを押し“■ 後面”にしてください。

ご注意：

- 前面に何も接続していない場合でも、ボタンが“■ 前面”の状態になっていると後面からは入出力できませんのでご注意ください。
- 前面の入力8と後面の出力5 など、前面後面の端子を組み合わせることはできません。

定 格

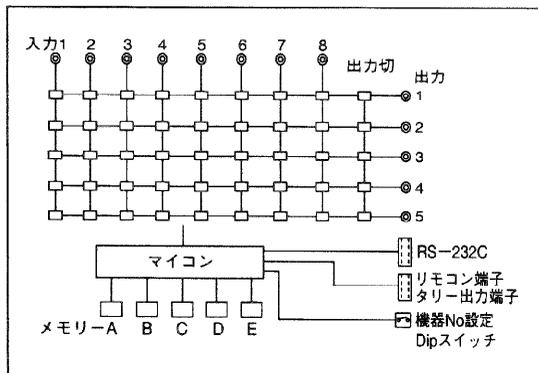
• 0 dBuは約0.775Vです。

		項目	入力条件	出力条件	規格
オーディオ部	出力特性	基準出力	1 kHz -14 dBu	10 k Ω 負荷	-14 dBu \pm 1.5 dB
		最大出力	1 kHz	10 k Ω 負荷 ひずみ率 1%	18 dBu以上
		ひずみ率	20 Hz~20 kHz	10 k Ω 負荷 -14 dBu	0.05%以下
		出力インピーダンス		1 kHz	2.2 k Ω \pm 10%
	入力特性	入力感度	1 kHz	-14 dBu Ref. 10 k Ω 負荷	-14 dBu \pm 1.5 dB
		最大入力	1 kHz	10 k Ω 負荷 ひずみ率 1%	18 dBu以上
		入力インピーダンス	1 kHz		23 k Ω \pm 10%
	ノイズ	周波数特性	20 Hz~20 kHz	1 kHz 0 dBu Ref. 10 k Ω 負荷	0 \pm 1 dB
		S/N	入力3.3 k Ω 終端 1 kHz 基準入力 Ref.	10 k Ω 負荷 FILTER (IHF:A)	90 dB 以上
		L/R間出力差	1 kHz -14 dBu	10 k Ω 負荷	0 \pm 1 dB
映像部	出力レベル	チャンネル間 クロストーク	入力3.3 k Ω 終端 1 kHz 10 kHz	10 k Ω 負荷	70 dB 以上 55 dB
		ソース間クロス トーク	入力3.3 k Ω 終端 1 kHz 10 kHz	10 k Ω 負荷	70 dB 以上 50 dB
		出力レベル	ビデオ入力 1Vp-p カラーバー信号 S-Y端子 1Vp-p S-C端子 0.286Vp-p	ビデオ端子 75 Ω 終端 S-Y端子 75 Ω 終端 S-C端子 75 Ω 終端	1 \pm 0.1Vp-p 1 \pm 0.1Vp-p 0.286 \pm 0.09Vp-p
	映像クロストーク	周波数特性	ビデオ入力 1Vp-p	ビデオ端子 75 Ω 終端 40~7 MHz	0 \pm 2 dB
		映像クロストーク	ビデオ入力 1Vp-p S-Y端子 1Vp-p S-C端子 1Vp-p	3.58 MHz 75 Ω 終端	45 dB以上

総合	消費電力	16 W
	電源	AC 100 V, 50/60 Hz
	寸法(幅×高さ×奥行)	(本体寸法) 430×132×300 mm、(最大外形寸法) 430×142×320 mm
	質量(重量)	6.7 kg

注) この定格は、性能向上のため変更することがあります。

ブロックダイアグラム



お手入れ

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水か石けん水を含ませた布でふき、後は乾いた布でふきとってください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用のときは、その説明をご覧ください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここをご確認ください	処置
音は出るが映像が出ない。	組み合わせた入出力機器で、使用している映像端子の種類(S1またはコンポジット)が違っていませんか。	使用する映像端子の種類を合わせる。
音も映像も出ない。	接続している入出力機器と入出力設定ボタンの設定は合っていますか。	入出力設定ボタンを正しく設定する。
	入出力機器の接続は正しく行われていますか。	正しく接続する。
入力8、出力5の音や映像が出ない。	入出力前面/後面切換ボタンの位置が逆になっていませんか。	押して正しい位置にする。
本体前面のボタンを押しても動作しない。	コントロールモードが“釦ホールド”や“リモコン”、“RS-232C”になっていませんか。	“前面操作”モードにする。

アフターサービスについて

保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間 —— お買い上げ日から1年間

修理を依頼される時

上記の「故障かな!？」に従って調べていただき、直らないときには必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が出張修理をさせていただきます。

連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日

●保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	電話（ ） —	お買い上げ日	年 月 日
お近くの当社 ご相談センター	電話（ ） —	品 番	SH-S505Z

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部
〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎(06) 909-1021

RQT3133-T
H0195G0